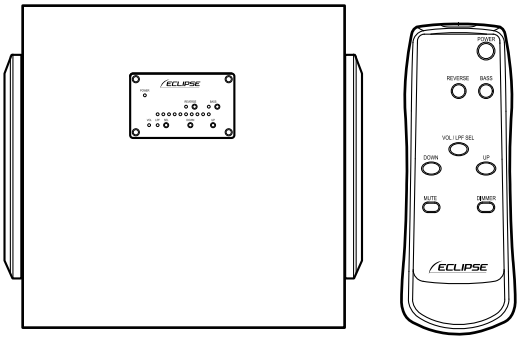
ECLIPSE™



TD316SWMK2
SUBWOOFER

取扱説明書

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、必要なときにすぐご覧になれるよう、保証書とともに大切に保管してください。

FUJITSU TEN

目次

特長 3

本体と付属品の確認 3

安全に正しくお使いいただくために 4
- 安全上の留意項目 7

各部の名称とはたらき 8
- リアパネル 8
- フロントパネル 9
- リモコン 9

リモコンに電池を入れる 11

設置する 12
- フットの取り付け 12
- 設置場所について 12

接続する 13
- 一般的な接続 13
- スピーカー端子での接続 14

基本の使いかた（音を聞く） 15
- 消音する（ミュート） 15
- 電源を自動的に ON/OFF する（オートパワー） 15

音を調整する 16
- 音量の調整 16
- L.P.F の調整 16
- 位相極性の切替え 17
- 低音強調（BASS）の切替え 17

お手入れ 18

こんなときは 18

仕様 19

保証とアフターサービス 20

音のエチケット
- 楽しい音楽も場所によっては気になるものです。ご近所のご迷惑にならないよう、適度な音量でお楽しみください。
- 特に、夜間などは小さな音量でも周囲にはよく通るものです。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

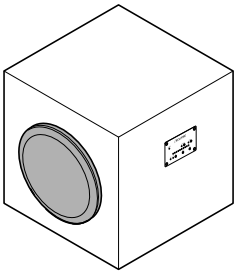
特長

この製品は、タイムドメイン理論に基づいて設計されたサブウーファーシステムです。
「スピード感」に満ちた「キレのある低音」をお楽しみいただけます。

タイムドメイン理論
アーティストやエンジニアがこだわって創り上げた音の波形を、限りなく正確に再現することを目指した理論です。演奏家が音楽に込めた繊細な表現や、臨場感あふれる空間を演出します。

本体と付属品の確認

- サブウーファー× 1



- 電源コード× 1（13、14 ページ）

- リモコン× 1

- リモコン用電池（単 3）× 2
（11 ページ）

- フット× 4（12 ページ）

- ロゴシール× 1

- 取扱説明書× 1
- 保証書× 1

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

⚠ 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容

⚠ 警告

異常・故障時は・・・

■ **次のような異常時には、ただちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。**
- 異音や異臭がする　- 煙が出ている　- 落下や破損
異常な状態のまま使用し続けると、火災・感電の原因となります。

■ **お客様自身で、修理・分解・改造をしない。**
火災・感電・けがの原因となります。
修理・点検・調整は、当社窓口にご相談ください。（20 ページ）

ご使用時は・・・

■ **製品の上や近くに、花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や液体の入った容器を置かない。**
水濡れや異物による火災・感電の原因となります。

電源プラグやコードは・・・

■ **製品本体に表示された電源電圧以外では使用しない。**
火災・感電・故障の原因となります。

■ **必ず付属の電源コードを使用する。**
火災・事故の原因となります。

■ **タコ足配線をしない。**
発熱による火災の原因となります。

⚠ 警告

電源プラグやコードは・・・（つづき）

■ **次のような電源コードが破損することをしない。**
- 傷をつける　- 無理に曲げる　- ねじる　- 加工する　- 加熱する
- 引っ張る　- 重いものを載せる
破損による火災・感電の原因となります。
芯線の露出・断線など、電源コードが傷ついたときは交換してください。

■ **落雷のおそれがあるときは、電源プラグをコンセントから抜き、プラグには触れない。**
火災・感電・故障の原因となります。

⚠ 注意

設置・移設時は・・・

■ **次のような場所には設置しない。**
- ぐらついた台、傾いた不安定な場所や高所
落下・故障・けがの原因となります。
- 調理台や加湿機の近くなど、油煙や湯気の当たる場所
- 直射日光が長時間当たる場所や、暖房器具・火気の近く
火災・変形や変色・事故・故障の原因となります。
- 冷気が直接吹きつける場所
- 極端に寒い場所
露による漏電・焼損、事故・故障の原因となります。

■ **移動の際には、次のことに注意する。**
- 重量物のため、開梱や持ち運びは必ず 2 人以上で行う。
けがの原因となります。
- 接続されている機器の電源を切り、電源コード、接続コード、スピーカーコードなどを抜く。
コードを接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

■ **接続は、各機器の電源を切ってから行う。**

■ **各機器は、それぞれの取扱説明書に従って接続する。**
電源を入れた状態で接続すると、突然大きな音が出たり故障の原因となります。

⚠ 注意

電源プラグやコードは・・・

- **ぐらついたり、ゆるみのあるコンセントは使わない。**
  発熱による火災・感電の原因となります。
  電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。
- **濡れた手で抜き差ししない。**
- **電源プラグの刃に触れない。**
  感電の原因となります。
- **電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。**
  発熱やほこりの付着による火災の原因となります。
- **電源コードを熱器具に近づけない。また、電源プラグやコードが熱いときは使用しない。**
  コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となります。
- **電源プラグの刃などについたほこりは、定期的に取り除く。**
  火災・感電の原因となります。
  電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

ご使用時は・・・

- **製品の上に乗ったり、踏み台や腰掛けとして使用しない。**
  転倒や破損による、けがの原因となります。特に幼いお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- **リモコンに次のようなことをしない。**
  - 落とす　- 衝撃を与える　- 水をかける　- 湿気やほこりの多い場所に置く
  破損・誤動作・電池の消耗を早める原因となります。
- **電源を入れる前に、アンプやサブウーファーの音量を最小にする。**
  突然大きな音が出て、聴力障害・破損の原因となります。
- **大音量で再生中に異音がするときは、音量を下げる。**
  そのまま使用、または長時間音が歪んだ状態で使用すると、スピーカーが発熱し、火災の原因となります。

お手入れ時は・・・

- **電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。**
  感電・けがの原因となります。

長期間使用しないときは・・・

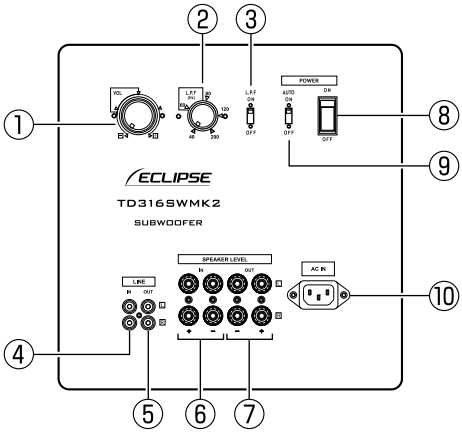
- **電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。**
  火災の原因となります。

■安全上の留意項目

1） 取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
2） 取扱説明書は、大切に保管してください。
3） 安全のために、警告の内容は必ず読んで遵守してください。
4） 安全のために、注意の内容は必ず読んで遵守してください。
5） 製品を水の近くで使用しないでください。
6） お手入れの際には、乾いた布をご使用ください。
7） ラジエーターやヒーターの吹き出し口、ストーブなどの熱源、またはアンプなどの熱を発生する器具の近くには設置しないでください。
8） プラグ／コンセント部、本体付近の電源コードを踏んだり挟んだりしないように保護してください。
9） 当社指定の取り付け具／付属品以外は使用しないでください。
10）雷が鳴り出したときや長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
11）以下のような場合は、必ず当社窓口に修理を依頼してください。
・電源コードやプラグが損傷した場合
・液体や異物が製品内に入った場合
・雨がかかったり湿気にさらされた場合
・製品が正常に作動しない場合
・製品を落下させた場合
・その他、製品が損傷した場合

各部の名称とはたらき

■リアパネル



① **音量調整つまみ（16 ページ）**
音量を調整します。

② **L.P.F 調整つまみ（16 ページ）**
高域の周波数を調整（カット）します。
調整可能範囲：40Hz ～ 200Hz

③ **L.P.F 切替スイッチ（16 ページ）**
L.P.F 調整機能の ON/OFF を切替えます。

④ **ライン入力端子（13 ページ）**
AV アンプなどのサブウーファー出力またはライン出力と接続します。

⑤ **ライン出力端子**
ライン入力端子、スピーカー入力端子に入力された信号をラインレベルに変換して出力します。（本機の音量調整つまみとは連動していません。）

⑥ **スピーカー入力端子（14 ページ）**
AV アンプなどにサブウーファー出力がない場合、そのスピーカー出力と接続します。

⑦ **スピーカー出力端子（14 ページ）**
スピーカー入力端子に入力された信号をそのまま出力します。

⑧ **電源スイッチ（15 ページ）**
電源を ON/OFF します。

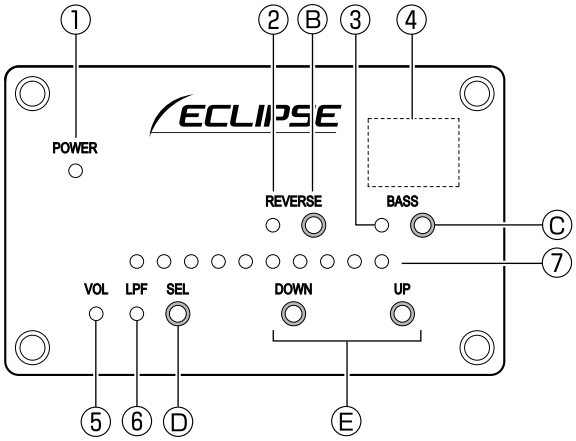
⑨ **オートパワースイッチ（15 ページ）**
オートパワーの ON/OFF を切替えます。

アドバイス

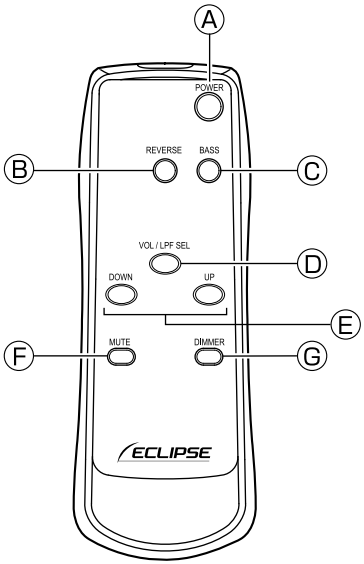
スピーカー入力端子を接続して使用される場合、オートパワー機能が作動しないことがあります。

⑩ **電源入力端子（13、14 ページ）**
付属の電源コードで、家庭用 AC コンセントと接続します。

■フロントパネル



■リモコン



〈インジケーター〉

① **POWER インジケーター(15 ページ)**
電源 ON のとき青色に、スタンバイ状態のとき赤色に点灯します。

② **REVERSE インジケーター (17 ページ)**
正相のとき消灯、逆相のとき点灯します。

③ **BASS インジケーター（17 ページ）**
低音強調時に点灯、強調解除時に消灯します。

④ **リモコン受光部（12 ページ）**
リモコンからの信号を受信します。

⑤ **VOL インジケーター（16 ページ）**
点灯時、UP/DOWN ボタンで音量が調整できます。

⑥ **LPF インジケーター（16 ページ）**
点灯時、UP/DOWN ボタンで L.P.F が調整できます。

⑦ **VOL/LPF レベルインジケーター (15 ページ)**
音量または L.P.F を表示します。

〈ボタン〉

Ⓐ **POWER ボタン（15 ページ）**
電源 ON とスタンバイ状態を切替えます。

Ⓑ **REVERSE ボタン（17 ページ）**
正相と逆相を切替えます。

Ⓒ **BASS ボタン（17 ページ）**
低音強調の ON/OFF を切替えます。

Ⓓ **VOL/LPF SEL ボタン（16 ページ）**
音量、L.P.F のどちらを調整するかを切替えます。

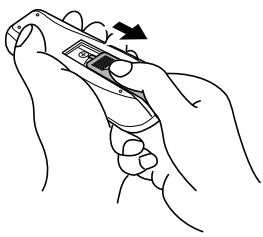
Ⓔ **DOWN ボタン（16 ページ）**
UP ボタン（16 ページ）
音量または L.P.F を調整します。

Ⓕ **MUTE ボタン（15 ページ）**
音を一時的に消すことができます。

Ⓖ **DIMMER ボタン**
インジケーターの明るさを調整します。ボタンを押すごとに、明るい→中→暗い→消灯の順で切替わります。
(消灯時は POWER インジケーターのみ点灯します。)

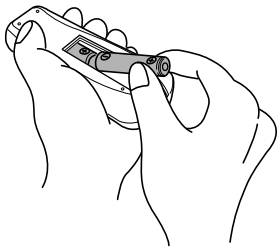
リモコンに電池を入れる

1 **リモコンの裏ブタを押しながら、矢印の方向に開きます。**

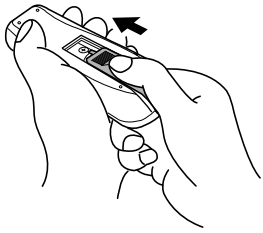


2 **電池 2 個をそれぞれ電池収納部の表示どおりにセットします。**

電池は、単 3 形を使用してください。



3 **裏ブタを矢印の方向に押して電池ケースを閉めます。**



付属の電池の寿命は約 1 年間です。リモコンの効きが悪くなった場合は、新しい電池と交換してください。

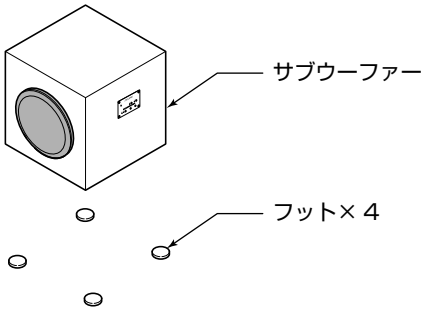
⚠ 注意

- **電池の極性（＋－の向き）を間違わない。**
- **新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。**
- **種類の違う電池を混ぜて使用しない。**
- **万一、電池の液漏れが起こったときは、電池収納部についた液をよく拭き取り、新しい電池と交換する。**

設置する

■フットの取り付け

フローリングなどに設置する場合は、サブウーファー底面にフットを貼り付けてください。

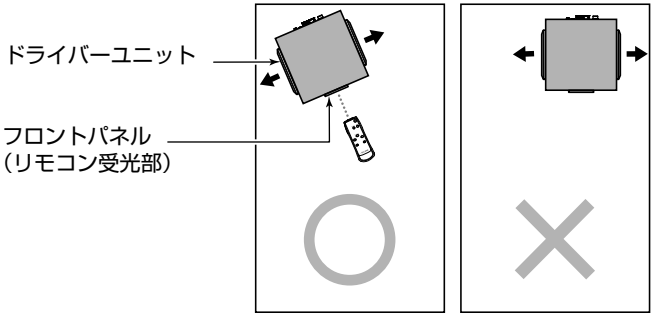


アドバイス

サブウーファーや床などを傷つけないように柔らかい布などを敷いた上で作業してください。

■設置場所について

- フロントパネルを視聴位置の方向に向けてください。
- ドライバーユニットを部屋の平行面に向けると、壁からの反射音などにより打消しが生じることがあります。平行面に対して角度をつけて設置することをお勧めします。



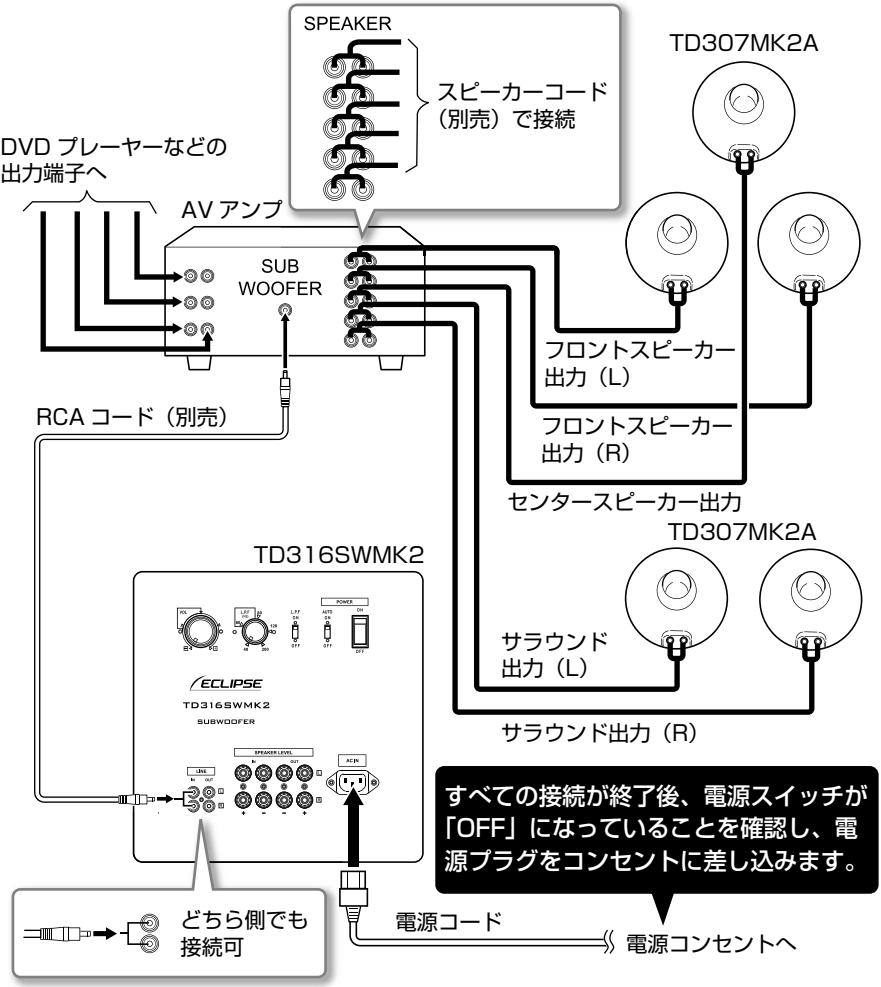
アドバイス

リモコン受光部に、直射日光などの強い光が当たらないよう設置してください。
（リモコン操作を受け付けなかったり、誤動作するおそれがあります。）

接続する

■一般的な接続（AV アンプにサブウーファー出力がある場合）

5.1ch システム接続例 プレーヤー＋ AV アンプ＋ TD307MK2A ＋ TD316SWMK2

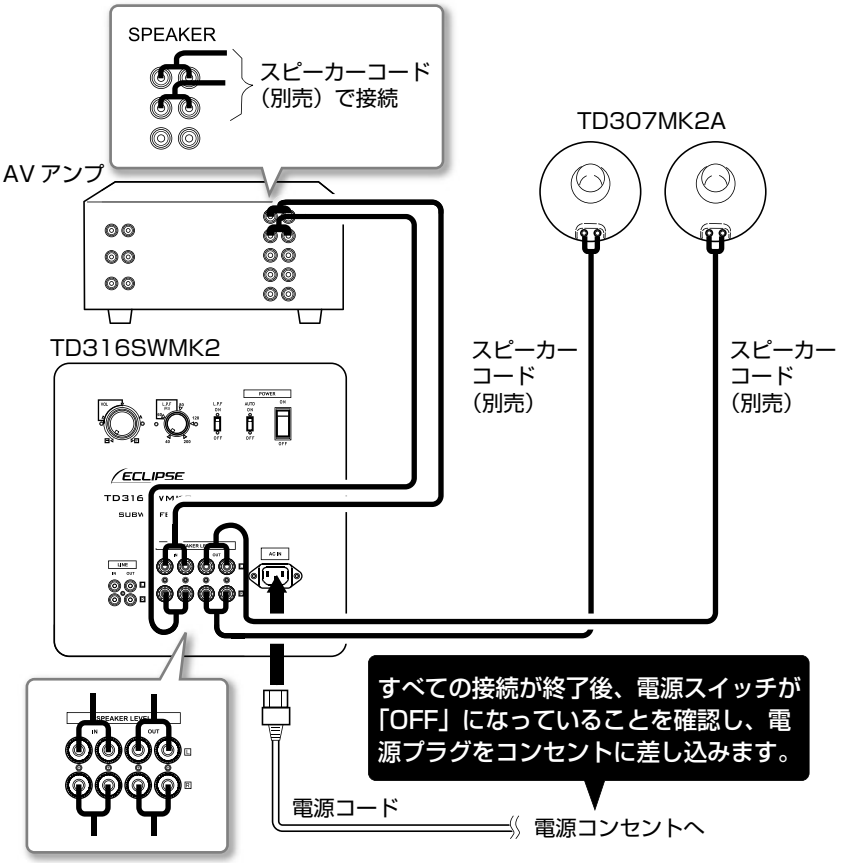


AV アンプのサブウーファー出力が 1ch しかない場合は、どちらか片方のライン入力端子に接続、または分岐コード（別売）を使い両方のライン入力端子に接続します。

※別売のコードはお近くの販売店でご購入ください。

■スピーカー端子での接続（AV アンプにサブウーファー出力がない場合）

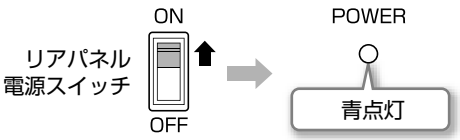
2.1ch システム接続例 プレーヤー＋ AV アンプ＋ TD307MK2A ＋ TD316SWMK2



※別売のコードはお近くの販売店でご購入ください。

基本の使いかた（音を聞く）

1 電源を入れます。

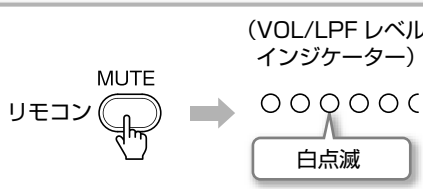


2 音源を再生します。

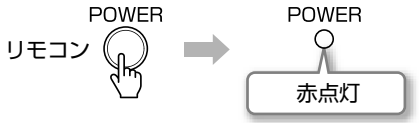
音質の調整は、「音を調整する」（16 ページ）を参照してください。

■消音する（ミュート）

一時的にサブウーファーの音を消すことができます。
元に戻すには、再度 MUTE ボタンを押してください。

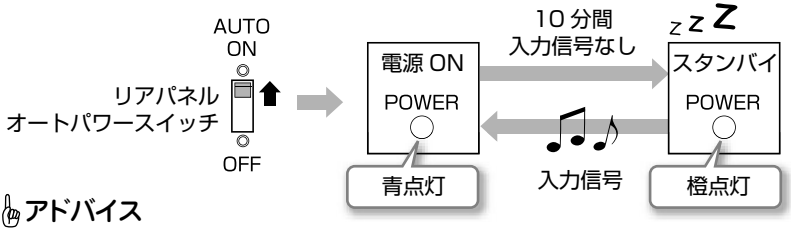


3 聴き終わったら、電源をスタンバイ状態にします。



■電源を自動的に ON/OFF する（オートパワー）

入力信号の有無を検知して、電源を自動的に ON/OFF することができます。



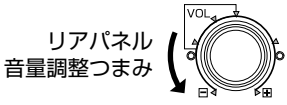
アドバイス

- スピーカー入力端子を接続して使用される場合、オートパワー機能が作動しないことがあります。その場合は、リモコンでスタンバイに切替えてください。
- 極めて小音量で使用される場合は、誤作動を防ぐため、オートパワースイッチを「OFF」にしてください。

音を調整する

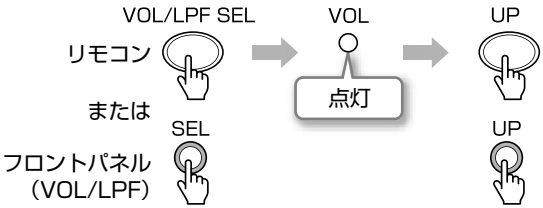
■音量の調整

1 音量を「−」（最小）にします。



2 音源を再生します。
アンプの音量は普段聞いている程度にしてください。

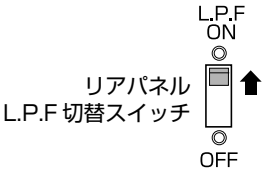
3 本機の音量を上げ、ご使用のスピーカーとバランスをとります。
リアパネルの音量調整つまみで調整することもできます。



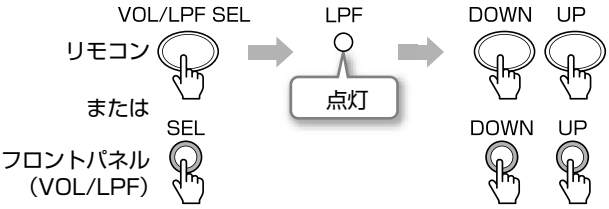
■L.P.F の調整

設定した周波数より高域の音をカットします。
CD などは本機で、ブルーレイなどのサラウンド音源の場合は、L.P.F 切替スイッチを OFF にして、プレーヤーや AV アンプ側で調整することをお勧めします。

1 L.P.F 切替スイッチを「ON」にします。



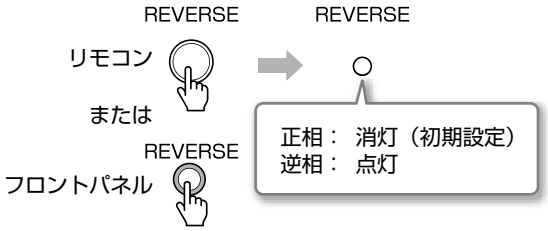
2 L.P.F を設定します。
リアパネルの L.P.F 調整つまみで調整することもできます。



中低域が不足している場合は、周波数を高めに設定してください。
（設定範囲：40Hz ～ 200Hz）

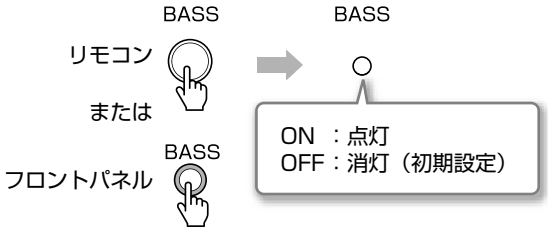
■位相極性の切替え

1 極性を切替え、低音が豊かに聞こえる方を選択します。



■低音強調（BASS）の切替え

低音強調を ON/OFF することができます。
元に戻すには、再度 BASS ボタンを押してください。



お手入れ

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- シンナー、ベンジンなどは使わないでください。
（キャビネット表面を傷める原因となります。）

⚠ 注意

■ **お手入れをする前には、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。**
感電・けがの原因となります。

こんなときは

動作に異常がある場合は、リアパネルの電源スイッチを「OFF」にした後、再び「ON」にしてください。

こんなことが異常の原因になります
- 過大な衝撃、静電気、落雷による電源電圧の異常などを受けた。
- 誤った操作をした。

→引き続き異常が発生する場合は、当社窓口にご相談ください。（20 ページ）

仕様

	TD316SWMK2
定格出力	125W（T.H.D. 1%）
全高調波歪率	0.05%（1/2 定格出力時）
信号対雑音比	80dB 以上
再生周波数特性	30Hz ～ 200Hz（-10dB）BASS MODE L.P.F 200Hz 時
入力	LINE（Stereo） 1 系統 Speaker Level 1 系統
入力感度	LINE 50mVrms（100Hz）
入力インピーダンス	LINE 入力時 10k Ω以上 Speaker Level 入力時 3k Ω
出力	LINE（Stereo） 1 系統 Speaker Level 1 系統
消費電力	45W
待機電力	6W 以下
スピーカー口径	16cm × 2
外形寸法（mm）	W399 × H360 × D384 （突起部含む）
質量（1 台）	約 23kg

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

■使いかた・お手入れ・修理のご相談窓口

富士通テン株式会社
ECLIPSE TD インフォメーション

0120-02-7755

受付時間：午前 10:00 ～ 12:00　午後 1:00 ～ 5:00
（土・日・祝祭日・弊社休業日を除く）

WEB 問合せ：**http://www.eclipse-td.com/**

弊社ホームページのサポートページからお問合せください。

■保証書（別添）

保証書は内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間：お買い上げの日から 1 年間
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

■補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品とは機能を維持するために必要な部品です。
この製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

■保証期間中の修理

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。

■保証期間経過後の修理

修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

愛情点検

長年ご使用のオーディオ機器の点検を！

このような症状はありませんか？	
	• 電源コードやプラグが異常に熱い • コゲくさい臭いがする • 電源コードに深いキズや変形がある • その他の異常や故障がある

ご使用中止

- 故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず点検をご依頼ください。
  なお、点検・修理に要する費用は、当社窓口にご相談ください。

MEMO

MEMO

FUJITSU TEN

090006-3649A700
1411(K)